

令和3年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ツマジロクサヨトウ（野菜）

令和3年6月11日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

県西部の一部のスイートコーンほ場において、ツマジロクサヨトウの幼虫による被害を確認しました。ほ場を観察して発生が見られた場合は、適切に防除してください。

2 情報の根拠

6月10日現在、県西部の一部のスイートコーンほ場において、本種の被害が確認された。

3 ツマジロクサヨトウの形態的特徴

- (1) ツマジロクサヨトウは広食性なヤガ科の害虫である。国内では飼料用トウモロコシ、スイートコーン、ソルガムなどで発生が確認されている。
- (2) 成虫は開張約37mm、雌雄で外観が大きく異なり、雄のみが前翅に淡色斑と白斑を持つ（写真1）。
- (3) 幼虫の体色は緑色、茶褐色等様々で、終齢幼虫は体長約40mmで、頭部の複眼と前額の境界にみられる逆Y字状の模様および尾部の黒斑点が特徴である。（写真2）
- (4) 卵は寄主植物に塊状に産み付けられ、雌の体毛で覆われる。



写真1 成虫（左：雄，右：雌 開長：約37mm）農林水産省HPより



写真2 終齢幼虫（体長：約40mm）農林水産省HPより

4 防除上注意すべき事項

- (1) 生育初期に幼虫の食害を受けた場合、被害が大きくなると考えられるため、ほ場巡回し早期発見に努める。
- (2) 幼虫の発生を確認したら、防除を行いましょう。本種に対して使用できる農薬については、農林水産省HPを参照してください。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html

- (3) 発生が確認されたほ場では、本虫の分散を防ぐため、収穫後は速やかに耕起し、残渣をすき込む。